

陳情第1号

陳 情 人 佐野市小見町970-1

有限会社佐野防疫社

代表取締役社長 諏訪 祐三 ほか2社

し尿収集手数料改定の陳情

1 陳情の要旨

下水道化による業務の減少や人口の減少、人件費や急激な物価の高騰、車両代やガソリン代の上昇などから、し尿収集手数料の改定を陳情するものです。

2 陳情の理由

私たち一般廃棄物処理業者は、廃棄物処理業開始以来今日まで、市町村の自治事務の代行者として適正な廃棄物処理を通じて良質な水環境の確保及び公衆衛生の向上に寄与してきましたところであります。

しかし、その傍ら各地区の下水道の普及は確実にその範囲を拡大し、日々の業務量が減少している今日、人件費や急激な物価の高騰、車両代やガソリン代の上昇などにより、一世帯に対する営業経費の増大は、私どもの企業努力をもってしても及ばぬところとなっております。

し尿収集手数料については、消費税率改正に伴う改定を除けば、平成20年4月の改定以来15年間手数料の改定もなく、私たちは現行の手数料で今日まで頑張ってきました。今後とも市の指導の下、相互の理解と協力を基本とし最後の一軒まで業務をやり抜く決意であります。

現在の経済事情を考えるに誠に心苦しい状況ではありますが、私どもの死活に関わる実情をご理解いただきまして、格別のご高配を賜りたく関係業者の連署をもって陳情申し上げます。